

2025 年 3 月 13 日

2025 年 2 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連に動きがみられたものの、大口案件が少なく前年を下回った。

巻取は学参、生損保、チラシ関連に動きがあり、前年をやや上回った。

（前年比 平判 97.0% 巻取 101.1%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の案件数、受注量の減少により前年を下回った。

巻取も定期案件以外に目立った動きもなく前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 79.3% 再生上質巻取 76.6% 再生上質計 77.8%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 97.7%）

<A2 コート>

平判は、飲食業、デリバリー等のチラシの動きは活発ではあるが、スーパーやドラッグストア等のチラシで目立った動きは無く、雑誌やカタログ関連の部数減、ページ減、休廃刊が続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、大型スーパー、量販店等で一部チラシの動きがあったが、スポット案件等の動きは無く、カタログパンフ等の減少がみられる。出版においても継続的にページ数及び部数の減少が続いており、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 97.2% 巻取 78.3% 全体 92.5%）

<A3 コート>

飲食店、デリバリー等の定期チラシ案件、イベント関連や企業の期末案件で一部動きがみられた。株主招集通知等の動きもあったが全体的に案件が乏しく、カタログパンフ等の落ち込みもあり、平判、巻取共に前年を下回った。

（前年比 平判 96.9% 巻取 91.2% 全体 92.9%）

<ノーカーボン紙>

平判は旅行保険関係の申込書などで動きは見られたものの、年度末の製品在庫調整もあり全般的に動きは低調。

巻取は金融・生損保案件の大口案件など目立った動きが見られず、巻平共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 79.5% 巻取 62.2%）

<上質フォーム>

自治体の納付書案件で動きはあるが、民間案件での目立ったスポット案件もなく大幅に前年を下回った。

（前年比 89.3%）

<包装用紙>

特殊両更は 4 年に 1 度の政府系調査の封筒の案件が続いていたが、封筒関連全体の動きとしては低調で、昨年を下回った。クラフト紙全体でも荷動きが低調で昨年を下回った。

純白ロールはお彼岸の生花向けや和菓子の包装紙などに動きは見られたが、前年並みの数字に留まった。包装紙全体では 92.6%と昨年を下回った。

(前年比 92.6%)

<板紙>

コートボールはパッケージ関連で動きは見られたものの、需要減は続いており前年を下回った。

(前年比 96.7%)

特板は国内化粧品・医薬品関連の輸出向けの不調が続き、国内向け什器、パッケージも需要減のため昨年来を大きく下回った。

(前年比 88.2%)

高板はトレーディングカード需要が下落し始め、年度末で出版用途での動きがあったが前年を下回った。

(前年比 98.7%)

チップボールは出版用途での落ち込みが続き低調。エンタメ系用途案件も回復せず低調が続いた。

(前年比 90.5%)

板紙合計

(前年比 94.2%)